

本論文は

世界経済評論 2019年11/12月号

(2019年11月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF



富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



☎0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

アセアンライジング

ERIA=TCER アジア経済統合叢書 第1巻

九州大学大学院経済学研究院教授 清水 一史



[編著者] 西村英俊 (にしむら ひでとし)

東アジア・アセアン経済研究センター事務総長

[発行] 勁草書房, 2018年10月刊

[判型] A5判・ヨコ組, 488ページ

[定価] 本体5800円+税

本書は、2014年に東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)から発表された*ASEAN Rising: ASEAN and AEC beyond 2015*の翻訳書である。ERIAは、ASEANと東アジアの経済発展と経済統合を支援する国際機関として2008年にジャカルタに設立され、ASEANや東アジアに多くの提言を行っている。編著者の西村氏は、ERIAの創立以来の事務総長である。

1967年に設立されたASEANは、2015年末には遂にASEAN経済共同体(AEC)を設立し、東アジアで最も深化した経済統合となっている。現在の課題は、次の目標の2025年に向けてのAECの深化である。2025年に向けては、2015年11月にASEANが発出した「AECブループリント2025」が設計図となっている。本書の原著*ASEAN Rising*は、「AECブループリ

ント2025」作成におけるベースとなった提言であり、大きな影響を与えた。

本書は、*ASEAN Rising*を基にした8章と新たに加えられた西村総長による補論2章から成る。「第1章 ASEANとAEC:進展と課題」と「第2A章 ビジョンと成果指標」、「第2B章 ASEANにおける持続的な高く公平な成長の実現に向けた枠組み」は、本書の課題と方法について述べた導入部分である。「第3章 ASEAN単一市場と単一生産基地の実現に向けた統合され高度に競争可能なASEAN」、「第4章 ASEANの競争力とダイナミックス」、「第5A章 包括的で強靱なASEANの実現」、「第5B章 強靱で環境調和的なASEANに向けてのエネルギーの強靱性とエネルギー安全保障の実現」、「第6章 グローバルなASEAN」が本書の提言の4つの柱であり、「第7章 感動する(Responsive)ASEAN」は4つの柱の基盤を述べた部分で、「第8章 ASEAN及びAECの2015年以降の前進」はまとめと提言の集約である。そして「補論1 ASEAN変遷の概要:ASEANの戦略的政策ニーズと対話国の貢献」、「補論2 ERIAストーリー」が付けられている。

原著*ASEAN Rising*は2014年に刊行されたものでありデータはやや古くなっている面があるが、その問題意識とともに、現在のASEAN経済統合に通じる多くの有益な論点や提言が含まれている。ASEANの生産ネットワーク構築や企業の活動に関わる提言も多い。また補章の2章により、現在までのASEANの変遷とERIAの歩みも理解できる。

評者は、昨年9月の日本アセアンセンターとASEAN研究会によるASEANミッションの際にERIAを訪問し、*ASEAN Rising*と「AECブループリント2025」の共通点と相違点、AECの課題等を議論させて頂いた。更にASEAN経済統合について議論したいと考えている。

本書はASEAN経済統合研究の必携の一書である。ERIAでは、その後もいくつもの研究を続け、ASEANにも提言を行っている。AECに向けての新たな提言が大いに楽しみである。

(しみず かずし)